

エ 研究の全体構想図

【学校の教育目標】
自ら学ぶ力を身に付け、豊かな心をもって未来を拓いていく児童生徒の育成

【目指す児童生徒像】
○ 自ら学び、確かな学力を身に付ける児童生徒
○ 礼儀正しく、思いやりのある児童生徒
○ 心身ともに健康でたくましい児童生徒

【研究主題】
小中併設校の特性を生かした一貫教育の創造
～学力向上を図るための小中連携した教科指導の工夫・改善を通して～

【研究で目指す児童像】
自ら解決方法を考え、答えを見つけ、進んで述べ合う児童

【研究で目指す生徒像】
自ら解決方法を考え、自力で答えを見つけ、根拠に基づいて分かりやすく述べ合う生徒

【研究内容】

<p>1 教科指導班</p> <ul style="list-style-type: none">○ 基礎・基本を身に付けさせるための授業における工夫○ 児童生徒による授業評価の実施○ テストの分析・考察、個に応じた指導・支援○ 学びの時間、朝自習の工夫	<p>2 生活力向上班</p> <ul style="list-style-type: none">○ 学習規律の定着○ 読書活動の工夫<ul style="list-style-type: none">・ 合同～中学生による読み聞かせ○ 家庭・地域との連携
--	---

【研究の仮説】
基礎・基本を身に付けさせるための教科指導と立腰教育を中心とした学習規律の指導の工夫・改善を行えば、児童生徒の学ぶ姿勢・学ぶ意欲や集中力、持続力、忍耐力が高まり、学力向上を図ることができるであろう。

【研究に関わる児童生徒の実態】

○ 礼儀が身に付きつつある。	○ 行動力がある。
● 基礎学力の定着が不十分	● 集中力が続かない。

【小中併設校の特性】
(小学生) 中学生から学んだことを学習や生活に生かそうとする力を高めることができる。
(中学生) 小学生と接することでこれまでに培ってきた知識の活用力を高めることができる。
(教師) 小学校入学から中学校卒業までを見通した教育活動を実践できることで、系統的な指導が可能となり、教師の授業改善や小・中学校が連携した教科指導が充実する。